

具体的な取組

地球温暖化、環境汚染、資源の枯渇を理解し、日常の業務の中で改善できるものを検討しましょう。

循環型社会への PR 活動

- ・ 物品購入には、積極的に環境優良商品を優先的に購入する。
- ・ 環境優良商品を優先的に宣伝・販売する。
- ・ 環境セミナーに参加し最新の環境情報収集に努める。
- ・ 環境優良商品の社内・社外講習会に参加する。
- ・ 環境展覧学会の企画実施を行う。
- ・ 納入業者・仕入先に、環境優良商品の紹介を要請する。
- ・ 納入業者・仕入先に、梱包材の簡素化又はリサイクル可能なものでの納品を要請する。
- ・ 入荷品に入ってくる梱包材は出荷時の梱包材として再利用する。その際、送り状等の除去、仕入先からの納品書・請求書が入る事無いよう注意する事。
- ・ 使用済み封筒は、社内連絡用や商品の梱包用として再利用する。この際、元の宛名を消し誤配の発生しないよう注意する。
- ・ 必要以上と思われる量の残っているカタログは返却等整理し、次回受入数の参考にする。
- ・ 定期配布カタログは早期に配り終える。
- ・ 仕入先・メーカーに協力を要請し大型総合カタログ等の最新版発刊の際はお客様から旧版の回収を行う。
- ・ チラシ等の販促品は、マーケットを検討し適量作成する。

主に配管資材・住宅設備機器を担当する管材グループでは、コロナ・ダイキン工業・三菱電機・東芝機器の「エコキュート」をはじめ、ノーリツ・リンナイ・パロマの「エコジョーズ」や「エコフィール」の商品説明会・メーカー同行での商品説明を企画しました。今年も、エコキュート 64台を販売。

従来機を使用したときに比べ1台あたり年間500kgのCO₂を削減したことになるというデータも出ているようです。32tonです！

取引先のCO₂削減キャンペーンにも参加。株式会社山善様が企画されている『Eco-BRANDキャンペーン』では、上記のエコキュート・エコジョーズの他、高効率の空調機器、油圧機器、コンプレッサの販売で参加中です。



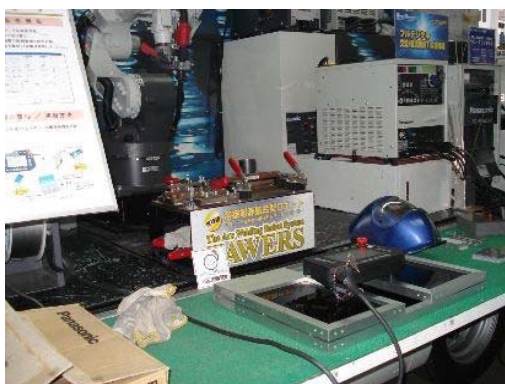
4月24日「ものづくり」4月26日「まちづくり」をテーマに恒例のスプリングフェアを自社倉庫「テクノセンター」で開催。

ここでもオイルフリーインバーターコンプレッサ、エコキュート、生分解性オイルスプレーなど、環境対策型の新製品・自信作も数多く展示。2日間で328名のご来場をいただきました。



また、10月26日には「2007オータムフェア 溶・工・管」を開催。40社のメーカー様のご協力をいただき最新技術商品の展示会をいたしました。

ここでも高性能、高効率、低燃費、低排出をアピール。エコマークも大活躍です。



当社オリジナルエコマーク

107台の配送トラックや営業車。今年も環境にやさしい低燃費車両を選定の基準として8台入れ替えや増車を行いました。

福井商工会議所 環境・エネルギー委員会企画の見学会

16社（企業・団体）19名が参加して大阪環境事業局舞州工場 ENEX2007 地球環境とエネルギーの調和展などを見学。 ENEX2007 では、環境問題をどう企業活動につなげていくか？あらゆる分野のいろんな商品にどんどん取り入れられていました。



「大阪環境事業局舞州工場」 「ENEX2007 地球環境とエネルギーの調和展」見学
その他、福井県経済団体連合会・福井県環境エネルギー懇話会 主催の資源エネルギー庁 長官講演、エコライフプラザ実行委員会 主催 デジタル地球大学「新エネルギーへの期待とその限界」に参加。

ミス防止によるロス削減

- ・電話での受注は必ず復唱し、取引先名・品名・数量・納入先等の間違いが発生しないようにする。
- ・倉庫、配送担当者は、それぞれ検印を行い、お客様に信頼していただけるよう責任を持って作業を行う。
- ・営業車・トラックに、期限の切れたカタログ、お客様からの返品・預かり品等が乗せたままにならないよう努め、整理する。
- ・納期に合わせた一括入荷、一括納品により梱包材の削減や配送の効率化に努める。

戻り・返品・訂正伝票の枚数を測定。今年は全枚数49万枚中2万7千700枚 約6%とわずかに増える結果となりました。

中身を見ると総伝票枚数は1万枚増えましたが、戻り・返品伝票はほとんどかわらず。しかし、訂正伝票が2500枚と約18%増えていました。

原因のひとつとしては鋼材をはじめとする商品価格の急騰があると思います。

今後、事業所、チーム、と絞って原因究明と削減に努めることとします。

節 電

- ・昼休みは、不必要箇所の照明を消す。（店頭は除く）
- ・外出する場合など長時間席を離れる場合はモニター及びコンピューターの電源を落とす。（伝票出力用の端末を除く）
- ・閉店後（残業時）は使用箇所の空調、照明以外消灯する。（当番確認）
- ・退社時はコンピューター、プリンター、コピー機の電源を落とす。
- ・情報システムチームは24時間稼働必要なサーバー・端末にテプラで明記し、節電行動によるトラブルが発生しないよう管理する。

- ・トイレの照明、換気扇は使用時以外消しておく。
- ・入社時の空調設備は一度に全て入れない。
- ・空調設備は各事業所の環境に合わせ設定温度を定め管理する。
- ・一時的にでも過剰な温度設定は空調設備・電気設備に負荷を与えるだけで効果が低いので行わない。
- ・就業時間内の業務集中に努め、ノー残業日を設定する。
- ・可能な限り、入荷日・入荷時間を調整し荷受け作業による時間外労働を削減する。
- ・クールビズ・ウォームビズなど季節・環境に対応し、適切で安全な服装をする。
- ・電気またはガスを使用し、お湯を沸かす際は適量に努める。

電気使用量は、前年使用量から約1.1%の削減、2005年実績に対しては4.9%削減。目標の4%削減を達成することはできました。しかし一番影響が大きかったのは、昨年に引き続き今年は暖冬と言うより短い冬。倉庫でのストーブの稼働時間も少なかったことで灯油の使用量も同様に減りました。

節 水

- ・散水時、清掃時また台所、トイレでの水道使用時は節水に努め、蛇口の閉め忘れが無いが必ず確認する。

二の宮ベースでは外の蛇口をカギ付に変更した他、水漏れを調査発見し、大幅に改善。目標の2005年度実績比9.2%も削減することができました。

紙使用量削減

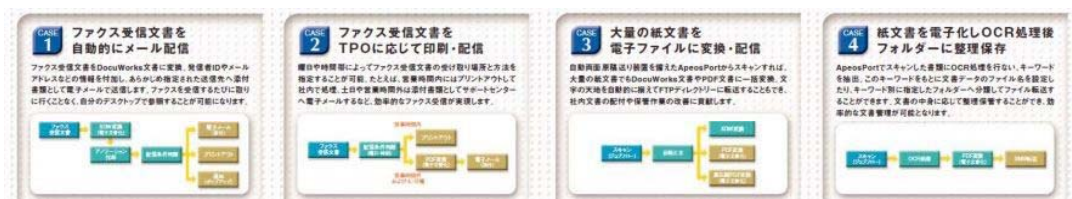
- ・会議にはプロジェクターやホワイトボードを使用し配布資料は必要最小限にとどめる。
- ・会議資料は数を確認して可能な限り両面印刷を行う。
- ・社内の連絡・通達事項は、サイボウズを利用し紙媒体、ファクシミリによる回覧・連絡は必要最小限にとどめる。
- ・コピー機で複数枚印刷、拡大縮小等および特殊機能を使用した場合は、次の人のために必ず「リセット」ボタンを押す。
- ・書き損じ、印刷ミスをした場合、破らずに裏紙として使用する。
- ・確認のための印刷など保存を必要としない印刷は、用途を検討して裏紙の使用に努める。

メールやグループウェア（サイボウズ）も浸透しましたが、取引先からのファクシミリはまだたくさんあります。



そこで、試験的に鯖江支店では複写機の購入を機会にペーパーレスファクシミリ対応の

複合機を選定。ファクシミリのペーパーレス化を開始しました。



運用方法はまだまだ模索中ですが、まずは一歩です。

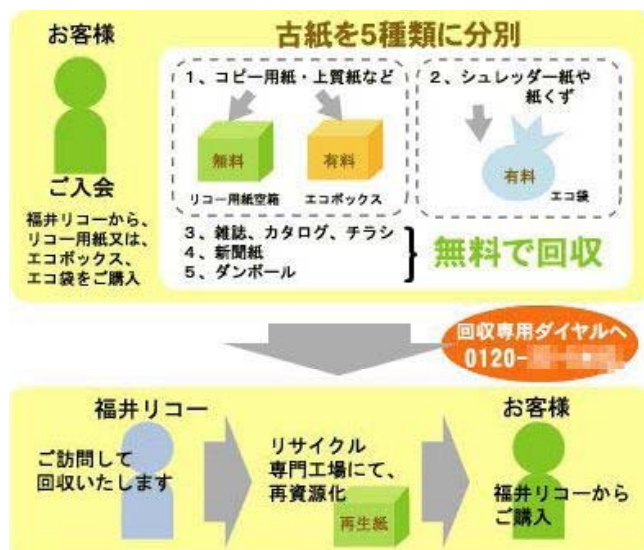
ゴミ排出量の削減

- ・ 価格表、見積書、納品書、請求書及び個人情報・社内機密事項の記載された書類は裏紙として使用しない。この場合、破ったりまるめたりせず記載箇所又は全てを必ずシュレッダーにかける。
- ・ ゴミの排出量を削減するため、分別を行いリサイクル率を高めるよう努める。
- ・ 使用済みコピー用紙はコピー用紙の空箱に入れ「グリーンサークル」（お取引先での環境活動に参加）により再資源化する。
- ・ 集金に使用したものなど再利用に向かない封筒は、古紙の分別を行い再資源化する。
- ・ 古新聞は、依頼があれば学校・町内等の廃品回収に優先的に供出する。
- ・ 段ボール紙、新聞紙、雑誌・カタログ・チラシは出来る限り金具等を外し、グリーンサークル利用時に合わせて出し再資源化する。または、取引先の紙管製造業社の回収活動に出し再資源化する。

メーカーさんからいただくカタログの量を手配時に意識するようになり、また有効期間内に配りきるように努めました。

一般廃棄物の排出量は 6, 354kg。昨年より約700kg減らせていました。

また今年は約14000kgの古紙と段ボール紙をリサイクルに回しました。引き続き分別を徹底してゴミの排出を削減していきます。



「グリーンサークル」のリサイクルシステム（福井リコー様より）

今年も定期的に納品・引き取りのあるお客様に「通い箱」を用意。 お客様へのゴミ削減にも一役買っています。

エコドライブ

- ・交通規則を守り、急発進、急加速、急ブレーキ、急ハンドルなど「急」のつく運転を行わない。
- ・車両管理者は、空気圧等始業前点検を行う。
- ・アイドリングストップに努める。
- ・車両を離れる際は、キーを抜き施錠する。
- ・出入り業者等にも敷地内でのアイドリングストップを要請する。

2005年比でガソリンは 0.2%増、軽油は、11%減ということでCO2の排出量で比較すれば約8%削減できました。

売上高は、2005年比10.3%増という中で平均燃費は2.7%改善。

107台の車を使用している当社では、ガソリン・軽油など石油高騰している現在、約100万円の経費節約も出来たこととなります。

その他の取組

月1回実施している事業所周辺地域の美化清掃活動や使用済み郵便切手の回収・寄付で「福井県ボランティア応援企業認証制度」に参加。

